

家庭教育委員会だより

はばたき

VOL. 51

令和8年3月1日
発行：藤岡市小中学校PTA連合会
家庭教育委員会
責任者：宮崎 淳子

～しあわせ脳に育てよう！～

令和7年10月15日（水）みかぼみらい館小ホールにて「藤岡市青少年健全育成大会」が開催され、講師に人工知能研究者の黒川伊保子氏をお招きし「しあわせ脳に育てよう！」と題した講演が行われました。

今やAIがなくてはならない時代ですが、これからは「人間力」が今まで以上に必要であり、子育てにおいては直感力と対話力を育むことの大切さを学びました。直感力を高めるにはホルモンを正しく分泌する生活が重要で「早寝・早起き・朝ご飯・適度な運動・読書」という基本的な生活の大切さを教えていただきました。

また、先生は「何でもない話をしよう」と呼びかけられ、忙しさをやり過ぎてしまっていた何でもない家族との会話の時間の大切さを見つめ直すことができました。お互いを労い、喜びや感謝を伝えあう家族の会話を心がけ、相手を否定せず、笑顔で認めあうことを意識していきたいと感じました。

家庭教育委員会副委員長 浅見都子



写真は講師の黒川伊保子（くろかわいほこ）先生です。当日は230名の方に参加していただきました。ありがとうございました。

活動報告

第4回家庭教育委員会12月10日（水）

「中学生の気持ち～イライラ、ムカムカ～」というテーマで、ワクワク子育てトークンングを実施しました。エピソードに基づいて保護者役と子ども役に分かれてロールプレイを実施し、思春期の子どもとの会話の場面で、親の言うことを聞かない子どもにどう応じたらよいか、保護者としての接し方について意見交換を行いました。皆さん興味を持って積極的に参加していました。



ロールプレイの様子

～参加者の感想の一部を紹介します～

- 色々な方とお話しできて、色々な考え方を聞いて勉強になった。
- ちょうど思春期、受験生の息子がいるので、とても勉強になった。自宅に帰り、声かけの方法を変えてみようと思った。
- 自分の子はまだ思春期ではなく、実感が持てないが、現役のお母さんたちの体験談を聞いて、自分の中の引き出しが増えた気がする。まだ来ないその時に備えようと思った。
- 前回今回ともにどこの家庭でも一緒なんだという安心感とともに、こんな言葉がけがあるのかと勉強になった。

❀ 1年を振り返って、家庭教育委員の皆さんの感想 ❀

- ◆それぞれの成長過程で、つまずく事や悩むことがあり、共有・共感できたことが良かった。
- ◇同世代の子どもを持つ親御さんとの話し合いができてとても良い経験になった。
- ◆他の家庭でのやり取りを話し合いの中で聞くことができ、自分とは別の方面からアプローチするやり方がたくさんあるのだと思った。
- ◇講演会は、とても話がおもしろくためになった。
- ◆グループでの話し合いがとても良かった。
- ◇日々、仕事の忙しさに家族をおろそかにしてしまう時もあるが、時間を家族のために使うように心がけたいと思った。
- ◆今年1年この委員会で良かったと思った。子どもとのことで悩んだりしてても一緒に悩みを持って人がいると思うとまた頑張ろうと思わせてくれた。
- ◇他の家庭の話聞いて、同じだと思うことや参考にしていきたい考え方などを知ることができた。

1年間ありがとうございました！

